



高校生が先生に！サツマイモの苗植え交流会を実施

－目線を合わせて笑顔に！農業の授業で育む地域の絆－

5月18日（月）、たかはぎ認定こども園の年長さんをお迎えし、本校2年次による農業科目「生物活用」の授業の一環として、サツマイモの苗植え交流会を実施いたしました。

当日は、バスで到着した園児たちを生徒が出迎え、担当の園児と手を繋いで農場へと案内しました。移動の合間に優しく声をかけるなどしてコミュニケーションを図ると、当初は緊張気味だった園児たちの表情も次第に和らいていきました。

苗植えの作業では、添え木を用いて苗を土の深くまで植え付ける方法を実践。生徒たちは園児の目線に立ち、言葉を選びながら丁寧に指導にあたりました。園児達からは「楽しかった」「もっとやりたい」といった歓声が上がリ、実りある体験となった様子です。

同園の教諭からは、「高校生が目線を合わせて優しく接してくれたおかげで、最初は強張っていた子どもたちの表情がすぐに笑顔に変わり、大変驚きました」と、感謝とお褒めの言葉をいただきました。園児たちからの愛らしい挨拶は、生徒たちにとっても大きな励みとなったようです。

今秋には、今回植えたサツマイモの収穫体験を予定しています。それまで農場にて大切に管理し、再び元気な園児の皆さんと笑顔で収穫できる日を心待ちにしています。



農業実習場まで誘導



さつまいも苗を植えてます



斜めに上手に植えてます



みんなで記念撮影